

デコバルーンコラムタワーキットのお取り扱い説明書

この度は『デコバルーンコラムタワーキット』をお求めいただきまして誠にありがとうございます。
正しい手順に基づき注意事項をご考慮の上、ご利用いただきますようお願いいたします。

はじめに

当製品をご利用になる前に以下の点につきご了承下さい。

- 設置するバルーンは、特殊配合した塩化ビニールの原料の”デコバルーン”を使用します。
ゴム風船に比べとても丈夫です。
また、非常に伸びる生地ですので、まん丸になるまで膨らます事ができます。
- 屋内・屋外共にご利用いただけますが、屋内に比べ屋外設置時の方がバルーンの劣化は早くなりますのでご了承下さい。(降雨時ではさらに劣化が進みます)
- 屋外設置の強風時には、転倒の恐れがあり大変危険です。
その際は、速やかに片付けてください。
- 万一、空気もれなどの不良品が発生した場合は、予備バルーンより取替えを行ってください。
予備バルーンを超える枚数が発生した場合は良品と交換させていただきます。
- 不可抗力による転倒にはくれぐれもご注意下さい。ケガや事故の原因となり危険です。
尚、不可抗力によるバルーンの破損、事故に関する責務は当社にて負いかねますのでご了承下さい。
- 水重りのベーススタンドを移動させる場合は、引きずらないで持ち上げてから移動して下さい。
引きずると破損して水漏れの要因となります。

メンテナンス作業について

●しぼんだバルーンを取り替えます

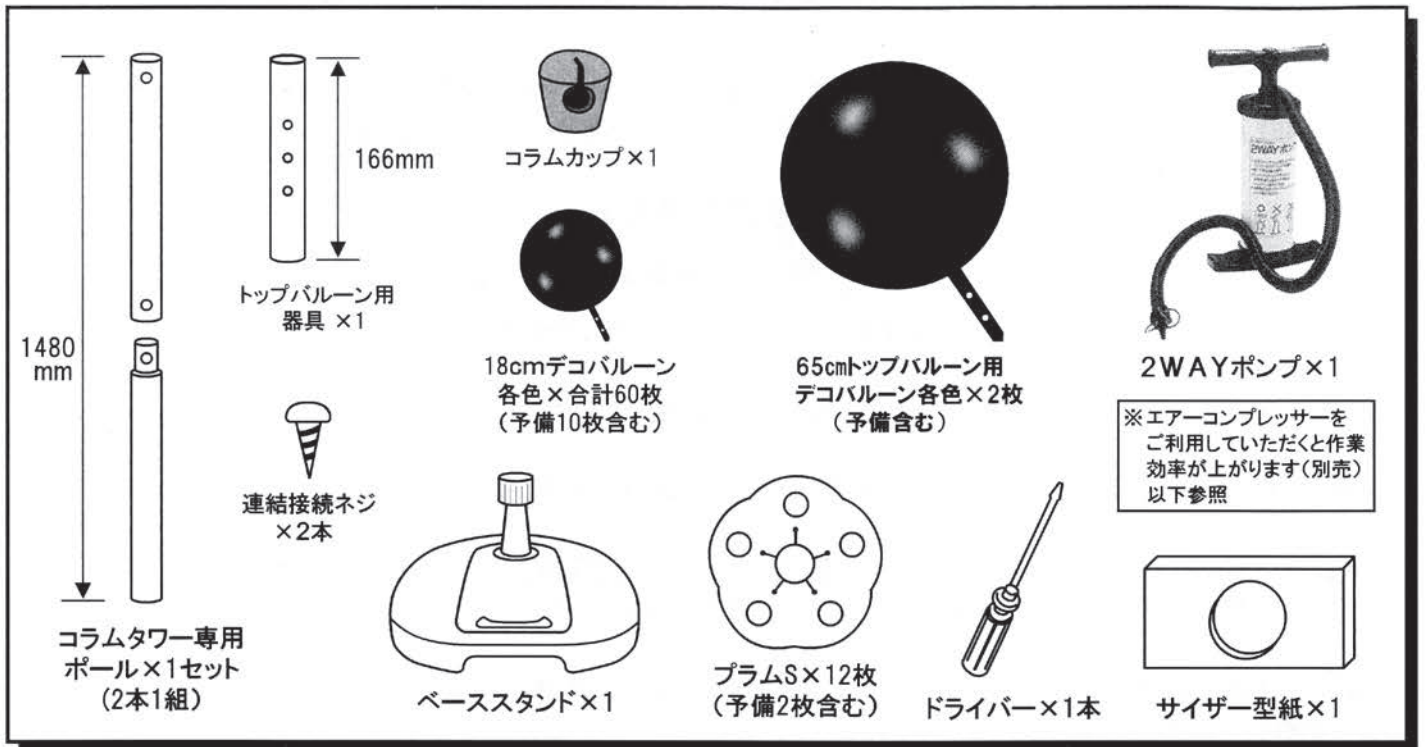
先に述べたとおり、デコバルーンは丈夫なバルーンですが、バルーンという性質上やがてしぼんできます。
その際には注入口より再度エアーを入れてください。再度注入する事で再び膨らむケースがあります。
それでもしぼんでしまう時には、予備バルーンの残りにまだ余裕があれば、その中から取替えを行ってください。

取替え方は、しぼんだバルーンをプラムから取り外し、新しいバルーンに取り替えます。
設営状態のまま取替えが可能であれば、そのまま作業して下さい。
しぼんだ場所により、作業がしにくい場合はフレームを取り外してから取替え作業を行ってください。
しぼむ時期・箇所などは設営場所や、状況により異なりますのでご了承下さい。
メンテナンス作業を行うことにより、より長くの設営期間を保つ事ができます。

予備バルーンがなくなり、さらに継続して設営されたい場合は、バルーン単品販売も行っておりますので
別途追加ご注文下さい。

詳しくは各販売店までお問い合わせ下さい。

《キット内容》

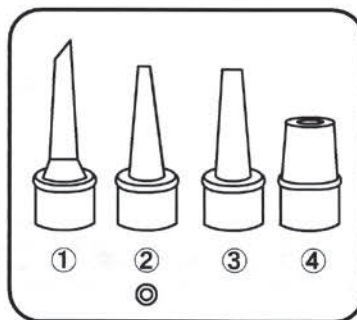


デコバルーンの膨らませ方

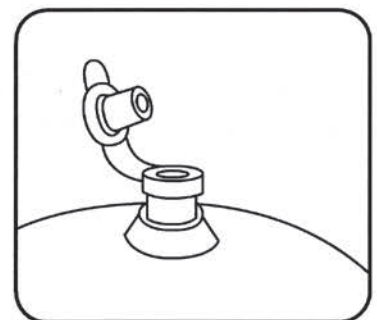
デコバルーンを膨らませるには、キット内の『2WAYポンプ』を利用します。



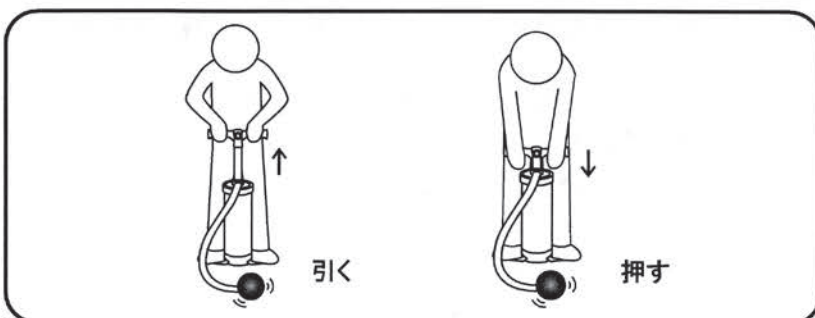
2WAYポンプ



膨らませる注入口のアタッチメントは
全部で4種類ありますが、②番の
タイプが口元にはまり1番効率よく膨らみます。



デコバルーンの注入口はビーチボールの
ようなバルブになっています。



図のように自転車のタイヤへ空気を入れる要領で膨らませます。
押しても引いても膨らむ2WAY注入式です。
適正サイズへ膨らませるのに約5回程度。

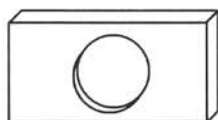


エアーコンプレッサー

膨らませる為にはある程度の圧力が必要となる
デコバルーンは、別売のエアーコンプレッサーを
利用すれば作業が楽で効率も上がります。
※別途各販売店へお問い合わせ下さい。

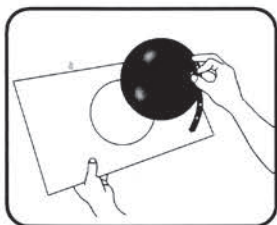
適切なサイズに膨らませる事が大事

バルーンの必要量は全部でおよそ50個になりますが、全てのサイズをそろえる事がとても大切となります。

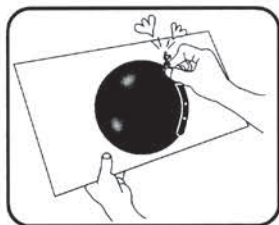


サイザー型紙

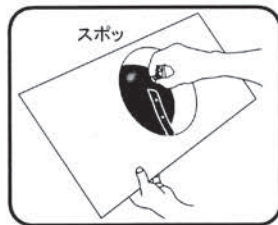
バルーンのサイズをそろえるためには、キット内付属品の“サイザー型紙”を利用します。
サイズを測るのにとても重要なアイテムとなりますので、大切に扱いましょう。



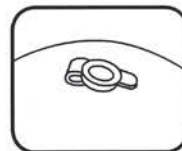
適切なサイズへ膨らませた後、
バルーンをサイザーの穴へ押しあてます。
(サイザー型紙の大きさよりも少し大きく
膨らませます)



この時点ではサイザーの穴に対して
バルーンの方が大きいので、注入口を
つまみながらエア抜きます。
サイザーの穴へ抜けるまで押しあてます。



サイザー穴に通ったこのサイズが適切な
サイズとなります。



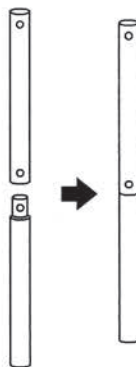
最後の措置として注入口のバルブを閉めた後、
押し込む作業を必ず行ってください。
この作業をしないとエアもれの原因となります。

作業にとりかかります

●フレームを組み立てます

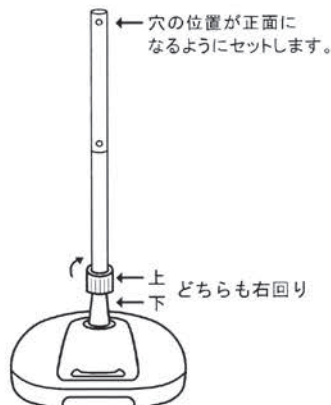


ベーススタンドへ水をいっぱいになるまで入れます。
(満水時 10kg)



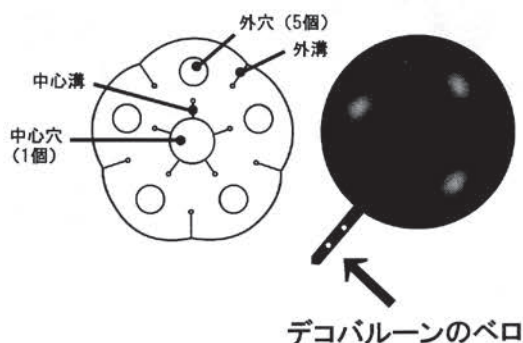
コラムタワー専用ポールを
組立てます。(ねじ止め要)

注)
上下穴の位置が
異なりますので
逆さまにならないよう
とりつけて下さい。



ポールをベースへ差し込みます。
ベース差込口の上と下両方ともしっかりと締めつけます。

●プラムにバルーンを1個ずつ取りつけます



デコバルーンのペロ

カラーバリエーションのご案内

カラーの種類は全5種

各タイプによりプラムに取りつけるカラーパターンは異なります。

以下の組み合わせで組んでいただくと、バランスの良いカラーが出来ます。是非ともご参照下さい。

(スタンダード)



5個とも
違うカラー
×各1個

(シトラス)



黄緑と黄色×各2個
薄緑×1個

(マリンブルー)



水色と濃青×各2個
白×1個

(ラブピンク)



ピンクと赤×各2個
赤紫×1個

(紅白)



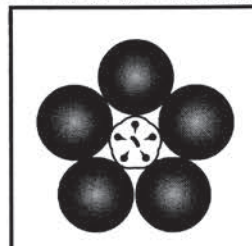
赤と白の組み合わせを
交互に組みます

※注意！

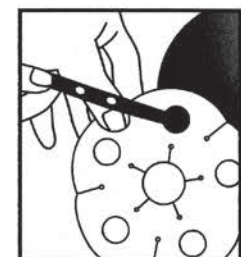


中心溝に引き込む際に、あまり
力を強く入れすぎますと、溝が
ちぎれる原因となりますので
ご注意ください。

1つのプラムが完成



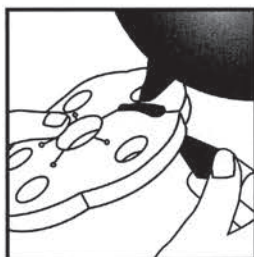
残りの外側の穴へも同じ要領で
取り付けていきます



プラムの外側に5個ある穴の
1つへデコバルーンのペロを
通します。



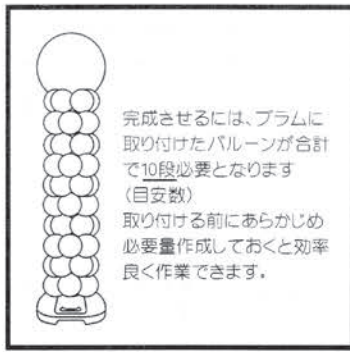
さらに中心穴へ通した後に
中心溝へ引っ掛けます。



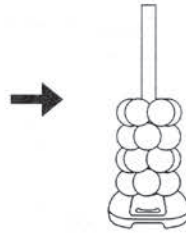
最後に外溝へ引っ掛けます。
この時にペロを横方向に
しながら入れるとやり易いです。

設置

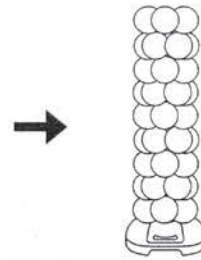
●ポールへ、プラムに取り付けたバルーンを設営していきます。



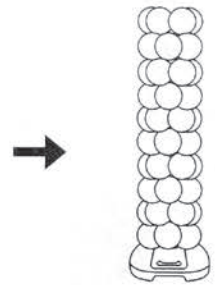
プラムに取り付けたバルーンをポールに通していきます。



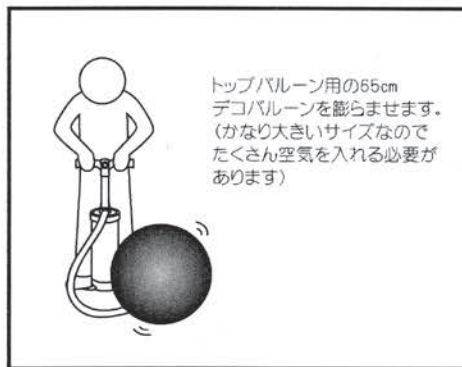
同じ要領でどんどん通していくだけです。図のようにバルーンとバルーンの間に重なるように重ねていきます。



さらにその上へ10段目ののせます。(ポールには通りませんので、積み上げる状態になります)

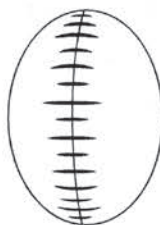


さらにその上へ10段目ののせます。(ポールには通りませんので、積み上げる状態になります)

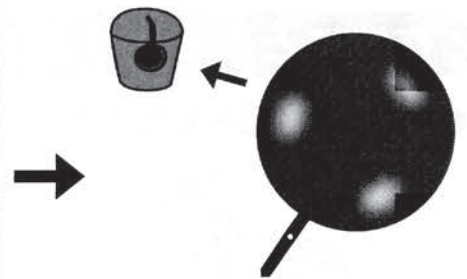


トップバルーンを膨らませる注意点

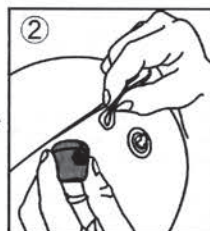
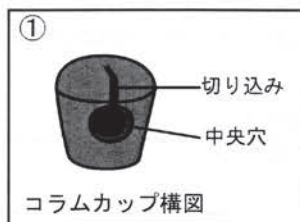
横から見た図



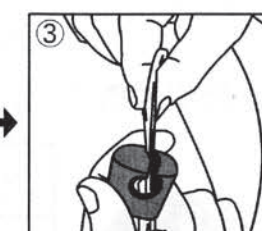
図のようにシワが10cm程度残るまで膨らませます。これ以上空気を注入しますと、破損の要因となります。



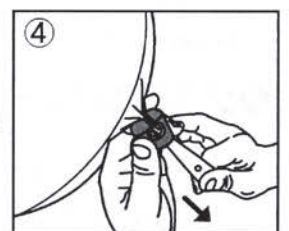
コラムカップへ膨らませた65cmのデコバルーンを取り付けます。



まずコラムカップ中央の穴へバルーンのパロを半分に折って通します。



次にコラムカップの切り込みへ図のように入れ込みます。

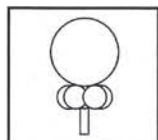
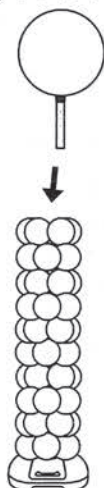


入れ込んだ後は、図のようにペロを最後までしっかりと引き込みます。



コラムカップに取り付けたバルーンをトップバルーン用器具に取り付けます。

⑥ ジョイントします。



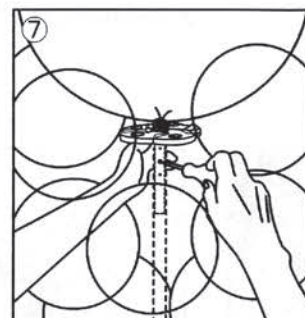
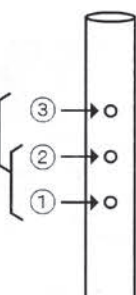
トップバルーンの方へ1段分のバルーンを持ってきて良いです。

トップバルーンがぐらついてきたら②・③の位置へ移動して取り付けます。

最初の取り付け位置は①もしくは②へ取り付けます。

トップバルーン取り付け時の注意事項

トップバルーン用器具には高さ調整が3段階できます。(ねじ止め要)



トップバルーン用器具とポールをねじ止めて完成です。

完成!

